



赤麻小だより



令和4年度 第4号

令和4年6月1日

【学校教育目標】 あかるい子 かしい子 たくましい子

発行：栃木市立赤麻小学校長 印部 稔

令和4年度 第1回 学校運営協議会を開催

5月25日（水）、今年度の第1回学校運営協議会が開催されました。

主な内容は以下の通りです。

- ①委嘱状交付
- ②学校運営の基本方針の承認
- ③授業参観（全クラス）
- ④協議
 - ・授業参観の感想
 - ・新型コロナウイルス感染症への対応
 - ・とちぎ未来アシストネットの活用
 - ・小中一貫教育の推進
 - ・教員の働き方改革
 - ・GIGA スクール構想の実現
 - ・児童会活動「あいさつ名人」
- ⑤給食試食

今年度の学校運営協議会委員の皆様です

（ ◎会長 ○副会長 ）

- | | |
|-----------|--------------|
| 萩原 繁 様 | （交通指導員） |
| 石川 淳子 様 | （主任児童員） |
| 鯉沼 裕子 様 | （地域コーディネーター） |
| 日高 智子 様 | （地域コーディネーター） |
| ◎知久 貴行 様 | （PTA会長） |
| 石川 悦史 様 | （あかまる隊隊長） |
| ◎藤野 喜代子 様 | （元教員） |
| 印部 稔 | （学校長） |
- 1年間よろしくお祈いします

学校運営協議会とは？

学校運営について学校とともに協議し、地域とともにある特色ある学校づくりの推進に役立てるために、また保護者及び地域住民の理解、協力、参画等を推進するために開かれるものです。この学校運営協議会のある学校をコミュニティスクールといいます。

メンバーは保護者や地域住民の中から、校長に推薦され、教育委員会より任命された最大9名までの委員で構成されます。地域コーディネーター・校長も委員の一人です。

権限・機能は以下の3つです。

- ①校長が作成する学校運営の基本方針の承認をすること。
- ②学校運営について教育委員会又は校長に意見を述べるができること。
- ③学校・家庭・地域の連携が促進されるように協議をすること。

【第1回運営協議会での主な意見・感想等】

<授業参観の感想>

- 全体的に一人一人が主体的に意欲をもって取り組んでいてよかった。また、「なぜ」を意識した指導や言葉掛け等の指導の工夫が見られ、子どもたちの理解を深めることに有効であると感じた。
- 1年生が楽しそうに英語活動に取り組んでいた。主体的で生きた英語を学んでいた。できれば、ALTの口の形（発音の仕方）が分かるとよい学びにつながる感じた。
- 算数では、他人の考えを類推するなど、思考を深め、プロセスを重視する指導がすばらしかった。
- 少人数での学び合いが有効であった。発表の際、グループ全員で立って発言することで、自信をもって発言できており、その手立てがよかった。
- 道徳では、ロールプレイング等を取り入れ主体的に登場人物の心情を考える手立てがすばらしかった。
- 照明が暗い廊下側は光源が多くあることが分かった。学習環境に配慮した設備がすばらしい。
- 先生や子どもたちの表情が分かりにくい、話している内容が聞き取りにくいなどのマスクの弊害があると感じた。

<その他>

- 5年生の稲作り体験に協力できる方に声を掛けようと考えている。
- 先日の引き渡し訓練の方法について。非常時には自家用車で迎えに来ることもあるのでそれを想定した訓練をする必要があると思う。
→ 訓練の基本形を児童や保護者や職員の方に覚えていただくため、保護者が徒歩で来校する引き渡し訓練を行っている。
- 基本を学んだ上で、校長先生、教頭先生、担当教員以外の先生たちに知らせない抜き打ちの避難訓練が必要であると思う。その際、子どもたちに恐怖感を

与えない配慮も必要である。
 ⇒昨年度の3学期に実施する予定であったが、コロナの感染状況を踏まえ実施ができなかった。今年は実施する予定である。



本校の今年度の学校経営

学校運営協議会で承認していただきました

学校教育目標 **あかるい子** **かしこい子** **たくましい子**

<なぜ>

あかまっ子の合い言葉

あ : 明るいあいさつ、進んでしよう (あかるい子)
 か : 考え合い、学び合おう (かしこい子)
 まっ : まっすぐ目を見て話を聴こう (かしこい子)
 こ : 困難も不撓不屈で頑張ろう (たくましい子)

学校経営方針

栃木市名誉市民 山本有三の精神「生命・人権尊重・絆」を基盤とする教育

- 1 学級経営の充実・・・ルールの確立 自己肯定感の育成 特別支援教育や困難児を生かした指導の推進
- 2 授業力・指導力の向上・・・授業のUD化の深化 (自ら考え学ぶ意欲の育成 個に応じたきめ細かい学習指導 学び合い GIGAスクールの推進 (ICTの活用))
- 3 道徳教育・人権教育の推進・・・いじめや差別を許さない心の育成 藤岡一中B道徳研究の成果を生かす道徳教育の推進
- 4 地域とともにある学校づくりの推進・・・とちぎ未来アシストネットの活用 コミュニティ・スクールの推進 小中一貫教育の推進
- 5 同僚性の推進・・・「チームあかま」としての協働体制の強化 報・連・相・確の徹底

R4学校課題 【自ら考え、思いや考えをわかりやすく伝え合う力を高める指導の工夫】
 ～ICT (タブレット等) の活用を通して～

あかるい子

『優しさと向上心を持ち、自他を尊重できる子』

ア 基本的な生活習慣の定着

☆あいさつ・返事の日常化

○早寝早起き朝ご飯

イ 心豊かで、喜び合い、励まし合い、支え合う子どもの育成

○道徳教育・人権教育の充実

○特別支援教育の視点からの教育の充実(教室環境・人的環境のUD化)

ウ 学校や地域社会を愛し、地域とともに成長する子どもの育成

○地域の歴史、伝統、自然を大切にしている心の育成

○地域の教育力を生かした特色ある教育活動の推進

(とちぎ未来アシストネットの活用)

かしこい子

『自ら課題を見つけ、協働して学び合う子』

ア 基礎的・基本的な学習内容が確実に身に付いた子どもの育成

◎基礎的・基本的な知識・技能の習得(朝の活動「学習」の充実)

◎特別支援教育の充実(授業のUD化)

イ 主体的に学び合う子どもの育成

◎学び合いによる学習の推進

◎自分の考えを表現する場の設定

○ふるさと学習の充実

○特別活動の充実

☆家庭学習 読書の習慣化

ウ 学習意欲を高めるためのわかる授業づくりと学業指導の充実

◎学業指導の充実(聴く姿勢の徹底・立腰で集中力アップ)

◎学習意欲を高めるための授業の工夫(一人一研究授業の実施・見せ合う授業の実施)

たくましい子

『粘り強く、最後までやりぬく子』

ア 健康で安全な生活態度や習慣が身に付いた子どもの育成

○教育相談の充実

○食育の充実

○青帯指導の強化

イ 運動に親しみ、進んで体力の向上に努める子どもの育成

☆楽しく活力ある体育授業の工夫 体力づくりの強化

ウ 失敗を恐れず、粘り強くやり抜く子どもの育成

○挑戦する機会を充実

○成功体験からの自己肯定感の育成

○努力の継続指導 (日記、自主学習等)

◎学校課題との関連 ☆小中一貫教育との関連 波下線: 昨年度と変わったところ 斜体: R3学校改善計画(低学年)

本校ならではの教育
 「地域の教育力を生かし、地域の中に生き、地域と一体となった教育」